

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、資料が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	ヒト CD34 陽性細胞へのレンチウイルスベクターを用いた遺伝子導入法の最適化のための動員末梢血由来単核球の使用		
1. 研究の目的と方法	目的：ライソゾーム病の造血幹細胞を標的とした遺伝子治療の研究開発 方法：ご提供頂いたヒト血液検体から未分化な細胞を精製・濃縮したのち、治療のための加工をします。作成した加工細胞において、治療効果を多面的に評価します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2018年3月1日～2023年10月31日の間に東京慈恵会医科大学附属病院小児科および腫瘍内科で動員末梢血（造血）幹細胞移植を行なった方で、治療が終了し、今後血液細胞を使用する予定が完全でない方を対象とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	動員末梢血由来単核球	
	(2) 試料の取得の方法	購入したヒト動員末梢血単核球または、通常は破棄する予定の治療に使用しなかった血液細胞（動員末梢血由来単核球）をいただきます	
	(3) 情報の種類	該当なし	
	(4) 情報の取得の方法	該当なし	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 遺伝子治療研究部
		氏名	松島 小貴
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年1月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 遺伝子治療研究部 研究責任者：助教 松島 小貴（マツシマ サキ） 窓口担当者：教授 小林 博司（コバヤシ ヒロシ） 電話番号：03-3433-1111（内線 2385） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。